

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	アセスメント・計画作成プロセス調査事業		担当部局庁	社会・援護局障害保健福祉部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	障害福祉課地域移行・障害児支援室		辺見 聡	
会計区分	一般会計		施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	利用者のアセスメント・計画作成手法の確立・標準化(質の向上)に資するため、アセスメント、サービスの組み合わせ、利用頻度等についてのデータを収集・分析し、利用者の状況に応じた標準的なサービスの支給量・種類の相関関係を見出す。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	① 障害福祉サービス利用実績や利用者の状態像に関する詳細な基礎データ(アセスメント結果、概況調査票、特記事項、医師意見書等)の収集・分析 ② 統計的な分析を可能とするためにコード化 補助率:定額(10/10)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算				49	
		補正予算					
		繰越し等					
	計					49	
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)
	障害福祉サービス利用者のアセスメント・計画作成手法の確立・標準化を図る事業であり、事業の性質から成果実績を定量的に評価することができない。		成果実績	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	障害福祉サービス利用者のアセスメントの内容、サービスの組み合わせ、利用頻度等についての実態把握・検討等を行う事業であり、事業の性質から活動実績を定量的に評価することができない。		活動実績(当初見込み)	—	—	—	—
				—	—	—	—
単位当たりコスト	—		算出根拠	—			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	障害程度区分認定等事業費補助金	—	49	アセスメント・計画作成の実態把握・検討等を行い、利用者の状況に応じた標準的なサービスの支給量・種類の相関関係を見出すための事業として新規計上			
計	—	49					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は、アセスメント、サービスの組み合わせ、利用頻度等についてのデータを収集・分析し、利用者のアセスメント・計画作成手法の確立・標準化(質の向上)を図るものであり、25年度に実施する必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>本事業は、総合支援法の検討規定への対応として、利用者の状況に応じた標準的なサービスの支給量等を見いだすためのアセスメント内容の分析を行うものであり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					